

重 要

かぶれ防止について

～施工前にかかわらずお読みください～

当社の製品をご利用いただきありがとうございます。

業務用補修材のため、身体につくとかぶれる場合があります。

材料を取り扱う際は**かならず手袋**を着用し、直接皮膚につけないようご注意ください。取扱に慣れるまでは時間にゆとりを持ち、準備を整えてから、塗るところ以外に材料をつけないよう慎重に作業してください。初めての時にかぶれない方でも、繰り返し材料が皮膚に付着すればかぶれてしまいますので充分ご注意くださいようお願い申し上げます。

もし手や身体に材料がついてしまったら！

なんとなく手や服がべたつく感じがしたら、すでに材料が着いてしまっている状態です。ただちに以下の対応をおとり下さい。

- ❖ かぶれることがありますので、すぐにお湯と石鹼でブラシなどを使ってべつき感がなくなるまで（100%）洗い落としてください。可能ならエタノールで拭き取ってから洗うとより効果的でしょう。対応が遅れるとかぶれがひどくなる場合があります。
- ❖ 手袋をはめるとき、はずすときに手首に材料をつけないようくれぐれも気をつけて下さい。皮膚のやわらかいところが特にかぶれやすいので嚴重にガードして下さい。
- ❖ 万が一皮膚が赤くなる、痒みがある等の症状が出たらかかずに医師の診察を受けてください。（かくとどんどん赤くなり、ますますかゆくなります。）
- ❖ 主剤・硬化剤が混ざっていない状態で服や手につくと、いつまでも固まらずあちこちにベタベタとついてまわり、2次汚染の原因になります。
- ❖ 混合していない材料がついた作業服・手袋はもったいないですが、すぐに処分されるようお願いいたします。液体が染み出さないビニール製の袋に入れて処分してください。処分する際は絶対に素手でさわらないで下さい。